

3. フェーズ 3

3-1 実施目的

- ① 疑似データ等による第 7 次 NACCS 業務の習熟訓練、利用者システムの機能確認及び業務連動確認を行う。
- ② 過去データを使用し、上流業務から下流業務までデータが正しく流れることを確認する、実運用に則した導流試験を行う。
- ③ 利用者が入力したデータをもとに日報・週報・月報等の管理資料情報を作成し、管理資料情報取出サーバに格納する。利用者は管理資料情報取出サーバに格納した管理資料情報を取り出し、入力したデータとの対査確認を行う。
- ④ 保守日運用の確認を行う。
- ⑤ メインセンターとバックアップセンターの切替切戻しの運用確認(第 2 回目)を行う。
- ⑥ メインセンターのシステム故障を発生させた想定で、故障復旧運用の確認を行う。

3-2 対象者と対象業務

(1) 対象者

民間利用者、関係行政機関(税関、関係省庁)

※関係省庁:厚生労働省(検疫所(食品、人・航空)、医薬)、動物検疫所、植物防疫所、
外為法関連業務利用者(経済産業省、水産庁)、港湾関連業務利用者(東京湾海上交通センター、港長、
港湾管理者(注)、検疫所(人・海上)、保安部署、地方運輸局)、農水省(輸出証明)

(注): 対応港湾は、後日 NACCS 掲示板へ掲載します。

(2) 対象業務

① オンライン業務

次の業務を除く全業務

・利用者設定業務(呼出し、照会業務は実施可能)

・ディレード業務(「当初輸入申告情報呼出し(修正申告)(DLI02)」業務等)

(一部業務は開放(対象は別紙 2「総合運転試験業務可否一覧」を参照))

※ディレード業務は、切替切戻し運用確認において、バックアップセンターからメインセンターへの切戻し準備開始
-メインセンターへの切戻し完了までの期間中(9 月 6 日(土)12:00~9 月 7 日(日)04:00)は、一律実施不
可となります(詳細は「3-9 切替切戻し運用確認(第 2 回目)(被災時)」を参照してください。)。フェーズ 3 期間
中に総合運転試験環境で許可となった申告分が取得可能です。

・MPN 関連業務

・歳入金電子納付システム業務(REPS 関連業務)

② WebNACCS(通関、貨物、損保、入出港、動物・植物検疫、外為)

③ 管理資料

作成する

※フェーズごとの対象業務については、別紙 2「総合運転試験業務可否一覧」、管理資料情報については、
別紙 3「総合運転試験管理資料情報一覧」を参照してください。

3-3 実施日程

2025 年 8 月 27 日(水)~9 月 12 日(金) :17 日間(土日含む)

(税関対応日は、土日除く(対応時間は下記のとおり))

実施日		8月27日(水)	8月28日(木)	8月29日(金)	8月30日(土)
実施時間		10:00~24:00	0:00~24:00		
システム日付・時刻		実施日・実施時刻に同じ			
税関開庁時間		実運用と同様(官署ごとの設定による)			
関係行政機関 対応	税関	11:00~12:00 14:00~15:00			対応なし
	税関を除く省庁	主に関係省庁集中審査等対応日(8/28,29,9/1,2)に 審査終了・回答等を積極的に行う			
保守日・被災時・ 負荷・故障試験		行わない			

実施日		8 月 31 日(日)	9 月 1 日(月)	9 月 2 日(火)	9 月 3 日(水)
実施時間		0:00~24:00			
システム日付・時刻		実施日・実施時刻に同じ			
税関開庁時間		実運用と同様(官署ごとの設定による)			
関係行政機関 対応	税関	対応なし	11:00~12:00 14:00~15:00		
	税関を除く省庁		主に関係省庁集中審査等対応日(8/28,29,9/1,2)に 審査終了・回答等を積極的に行う		
保守日・被災時・ 負荷・故障試験		保守日運用 02:30~05:00 実施不可	行わない		被災時切替運用 (メイン→バック) 13:30~14:10 実施不可

実施日		9月4日(木)	9月5日(金)	9月6日(土)	9月7日(日)
実施時間		0:00~24:00			
システム日付・時刻		実施日・実施時刻に同じ			
税関開庁時間		実運用と同様(官署ごとの設定による)			
関係行政機関 対応	税関	11:00~12:00 14:00~15:00		対応なし	
	税関を除く省庁	主に関係省庁集中審査等対応日 (8/28,29,9/1,2)に審査終了・回答等を積極的に行う			
保守日・被災時・ 負荷・故障試験		切替後運用 (バックアップセンター)			切戻運用 (バック→メイン) 03:00~04:00 実施不可

実施日		9月8日(月)	9月9日(火)	9月10日(水)
実施時間		0:00~24:00		
システム日付・時刻		実施日・実施時刻に同じ		
税関開庁時間		実運用と同様(官署ごとの設定による)		
関係行政機関 対応	税関	11:00~12:00 14:00~15:00		
	税関を除く省庁	主に関係省庁集中審査等対応日(8/28,29,9/1,2)に 審査終了・回答等を積極的に行う		
保守日・被災時・ 負荷・故障試験		行わない	故障復旧運用 (オンライン再起動) 13:00~13:40 実施不可	行わない

実施日		9月11日(木)	9月12日(金)
実施時間		0:00~24:00	0:00~18:00
システム日付・時刻		実施日・実施時刻に同じ	
税関開庁時間		実運用と同様(官署ごとの設定による)	
関係行政機関 対応	税関	11:00~12:00 14:00~15:00	
	税関を除く省庁	主に関係省庁集中審査等対応日 (8/28,29,9/1,2)に審査終了・回答等を 積極的に行う	
保守日・被災時・ 負荷・故障試験		行わない	

凡例)網掛けはオンライン全停止を伴う試験

3-4 疑似データ等による業務習熟訓練及び利用者システム機能確認

① 疑似データの使用

別紙 2「総合運転試験業務可否一覧」及び、別紙 4「総合運転試験業務シナリオ」に基づき、各業務に応じて後続の業務を行ってください。

なお、本フェーズ期間中、疑似データは初期化されません。

② 過去データの使用

利用者が総合運転試験向けに作成したデータや過去に取り扱ったデータ等を使用して、各業務の習熟訓練等を行うことも可能です。

③ 出力情報の確認

自身の行った業務により出力される出力情報(同期電文)および他の利用者が行った業務により出力される出力情報(非同期電文)の内容を用いて、自社で可能な後続の業務を行うことも可能です。

④ 各種照会業務等

疑似データ及び過去データ等で登録した内容を用いて各種照会業務、再出力業務を行うことが可能です。

⑤ 納付書の出力

納付書は、白紙または本番用の納付書を使用してください。

3-5 導流試験

導流試験では、総合運転試験期間の前に入出港した船舶、発着した航空機の中から、関係利用者間で連携し、取り決めた船舶・貨物、航空機・貨物に関する過去データを使用して、関係利用者間で取り決めた日に業務の流れを再現してデータを上流から下流へ流すことにより、船舶・貨物、航空機・貨物のデータが正しく流れることを確認してください。

具体的な業務の流れについては、別紙 6「導流試験の実施について」を参照してください。

3-6 本フェーズ中のNACCSセンターサーバでのデータ保存について

本フェーズ中は、8 月 27 日(水)にシステムが初期状態に設定された後は、最終日までデータが継続されます。

なお、本フェーズ中に入力したデータのうち、オンライン保存期間を過ぎたデータは、削除されます。

3-7 管理資料情報の検証

各日の業務実施内容に基づき、管理資料情報を作成するため、管理資料情報を取り出し、管理資料情報の内容と入力データとの対照確認を行ってください。作成周期が、本フェーズの日程内にある管理資料情報(日報、週報、月報等)が作成されます。

作成対象管理資料については、別紙 3「総合運転試験管理資料情報一覧」を参照してください。

3-8 保守日運用の確認

オンライン停止を伴う保守運用を想定し、8 月 31 日(日)02:30~05:00 にシステム停止を伴う保守日作業の確認を行います。オンライン業務を実施中に保守日運用が行われた場合、受け付けた全ての処理要求を処理した後、オンラインは終了します。保守日運用の開始以降の業務受付は行われません。

なお、NACCS センターから利用者に対して、保守日試験実施前営業日(8 月 29 日(金))の午後に第 7 次 NACCS 環境において同報電文にて保守日運用を行う旨を連絡します。

3-9 切替切戻し運用確認(第2回目)(被災時)

9月3日(水)13:30に第7次NACCSのメインセンターが被災して使用できなくなったと想定して、メインセンターからバックアップセンターへの切替および運用確認を行います。

オンライン環境

9月3日(水)	9月4日(木)	9月5日(金)	9月6日(土)	9月7日(日)
メインセンター ↓ バックアップセンター	終日バックアップセンターでの運用			バックアップセンター ↓ メインセンター
13:30 メインセンターの使用不可 メインセンターからバックアップセンターへの切替開始…① 14:10頃 メインセンターからバックアップセンターへ切替…②			12:00 バックアップセンター、随時報作成依頼情報登録・変更業務をできないよう規制する	03:00 バックアップセンターオンライン停止 バックアップセンターからメインセンターへ切戻し…③ 04:00 メインセンターオンライン開始…④ ※バックアップセンターのオンライン停止から、メインセンターのオンライン開始完了までが停止時間になる

① メインセンターからバックアップセンターへの切替開始

9月3日(水)13:30、メインセンターが使用できなくなったと想定し、メインセンターのオンラインを停止します。メインセンターからバックアップセンターへの切替作業をNACCSセンターにて行います。

② メインセンターからバックアップセンターへ接続先切替完了

バックアップセンターへの切替が完了次第、オンラインを開始します。利用者はバックアップセンターでの運用を開始してください。バックアップセンターへの切替が完了次第、第7次用NACCS掲示板にお知らせを掲載します。

③ バックアップセンターオンライン停止、バックアップセンターからメインセンターへ切戻開始

9月7日(日)の03:00にバックアップセンターのオンラインを停止し、メインセンターへの切戻し作業を行います。オンラインの停止時間は60分間の見込みです(保守日時間帯を想定)。

④ バックアップセンターからメインセンターへの接続先切戻し完了、メインセンターでのオンライン開始

全ての切戻し作業が完了した後、9月7日(日)04:00にメインセンターでオンラインを再開します。

3-10 故障復旧運用の確認(オンライン再起動)

第7次NACCSのシステム再起動が必要な障害が発生したと想定し、9月9日(火)13:00に故障復旧運用(全オンライン再起動)の確認を行います。本確認では、オンラインの再起動を行い、40分程度でオンラインが再開されます。

オンライン業務を実施中にシステム閉塞が行われた場合は、通常保守日と同様に処理要求電文を受け付けませんが、再起動後には、業務の再実行や後続業務の実施により業務継続性が損なわれることはありません。

3-11 NACCSセンターサーバのシステム環境

(1) 利用者 ID、パスワード

利用者 ID 及びパスワードは現行 NACCS の 2025 年 8 月 25 日(月)時点の情報が設定されます。

(2) 為替等換算レート

本フェーズ中に適用する為替等換算レートは、試験当日に適用する為替等換算レートが設定されます。
毎週火曜日または水曜日には、翌週レートも使用可能となります。

(3) 適用税番等

適用税番等は、2025 年 8 月 25 日(月)に設定される税番、税率等が設定されます。

(4) 輸出入者情報

2025 年 8 月 25 日(月)時点の現行 NACCS から取得したデータが設定されます。

(5) 特例輸入者、特定輸出者情報

上記(4)の情報に加えて、ダミーの輸出入者「P005A5550000」(法人番号:86345678901230000)を
特例輸入者、特定輸出者として登録します。

(6) 審査区分(税関手続き)

本フェーズ中は、税関が対応する時間帯は、区分 2、区分 3 用の輸出入者を以下の申告に用いることで、一般申告
の運用確認を行います。

【入力する輸出入者】

・区分 2 用の輸出入者＝「P002X2222222」(法人番号:86345678901230002)

・区分 3 用の輸出入者＝「P003A3330000」(法人番号:86345678901230003)

【対象の申告】

輸入申告/輸入マニフェスト通関申告/海上簡易輸入申告

輸出申告/輸出マニフェスト通関申告

上記以外は、一部例外を除いて、審査区分は「1」になるように設定します。税関対応時間帯以外に例外的に審
査区分が「2」または「3」に選定された場合でも税関による対応は行いません。(前述の区分 2、区分 3 用の輸出入
者コードを用いても税関は対応しません。)

(7) 審査区分(食品)

本フェーズ中は、本番と同様の審査区分を設定します。

(8) 関税等振替口座

本フェーズ中は、フェーズ 2 と同様に以下のダミーのリアルタイム口座のみ使用が可能です。利用可能日は、8 月
28 日(木)、8 月 29 日(金)及び 9 月 8 日(月)から 9 月 12 日(金)の平日です。

なお、納付については特定対応日の各日 00:00~14:00 に実施された申告分を対象(区分 2、区分 3 につい
ては、14:00 までに審査終了された申告が対象)とし、各日 17:00 までに疑似的に納付する税関業務処理を行
います。応答は 1 日 1 回であり、即時性はありません。

① 輸入申告(正常応答)用

・銀行コード-支店：9999-000

・口座番号:999900000000001

・口座名義人(輸出入者):P005A5550000

② 輸入申告(エラー:口座使用不可通知受信)用

- ・銀行コード-支店：8888-000
- ・口座番号:88880000000001
- ・口座名義人(輸出入者):P005A5550000

現行 NACCS に登録されているリアルタイム口座は総合運転試験では利用できません。当該実口座を使用した場合は、実口座の情報は登録されていないため、事項登録時にエラーとなります。

(9) 関税等納付専用担保

① 現行 NACCS で使用中の担保

2025 年 5 月 17 日(土)オンライン停止時点の担保が使用可能です。

なお、担保残高は 2025 年 7 月 26 日(土)オンライン停止時点において現行 NACCS で使用している担保の残高となります。

② 全通関業者共用の担保

- ・架空の輸入者のダミー据置担保(一括)(金額:9,999,999,999 円)を設定します。
- ・担保登録番号は「1AP000001」で、輸入者コード「P005A5550000」が設定します。
- ・提供原因は、HEN/KEN/BPS/17M/TEN/19G です。

③ 担保残高

本フェーズ中は、8 月 27 日(水)に初期設定された後は、最終日までデータが継続されます。

総合運転試験中は担保の積み増しをタイムリーに行わないため、現行から移行した担保については、金額不足により使えなくなることがあります。

3-12 その他

総合運転試験版のパッケージソフトではメニューバーがオレンジ色（フェーズ途中でのバージョンアップ後は緑色）でかつ、ステータスバー（パッケージソフト画面下部のバー）の接続先が「総合運転試験環境」となっています。